



# 平成 18年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成 18年 1月 31日

上場会社名 東洋製罐株式会社  
(URL <http://www.toyo-seikan.co.jp>)

(コード番号:5901 東証・大証各第1部)

代表者 役職名 取締役社長  
氏名 三木 啓史

問合せ先責任者 役職名 取締役総務部長  
氏名 清水 泰行

TEL (03) 3508 - 2113

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有  
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(内容) 連結会社・新規3社(東志投資有限公司、深圳東紅開発磁盤有限公司、東紅開発磁盤香港有限公司)

## 2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日 ~ 平成 17年12月31日)

### (1)経営成績(連結)の進捗状況

(注)本表及び添付資料は百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成18年3月期第3四半期	549,317	2.5	12,696	48.5	15,249	40.8
平成17年3月期第3四半期	535,919	4.4	24,638	8.0	25,757	13.9
(参考)17年3月期	699,865		18,606		18,734	

	第3四半期(当期)純利益		1株当たり 第3四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 第3四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円 銭		円 銭	
平成18年3月期第3四半期	13,896	19.8	66.74		-	
平成17年3月期第3四半期	17,332	26.7	81.51		-	
(参考)17年3月期	12,735		58.45		-	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

### (2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産		株主資本		株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円		百万円		%	円 銭
平成18年3月期第3四半期	954,112		622,291		65.2	2,983.94
平成17年3月期第3四半期	925,096		595,129		64.3	2,818.74
(参考)17年3月期	919,608		585,401		63.7	2,810.14

## 3. 平成 18年3月期の連結業績予想(平成 17年 4月 1日 ~ 平成 18年 3月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	710,000	9,000	5,500

(参考)1株当たり予想当期純利益 26円 41銭

### 業績予想に関する定性的情報

平成18年3月期の業績予想(連結・個別)につきましては、最近の業績動向等を踏まえ平成17年11月11日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成18年1月31日)別途開示しております「特別利益・特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注)上記の予想につきましては、本資料の発表日現在のデータにより経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいております。実際の業績は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

参考1. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況(個別)(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(1)経営成績の進捗状況

(注)本表及び添付資料は百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成18年3月期第3四半期	280,240	2.1	3,198	63.4	5,856	49.0
平成17年3月期第3四半期	286,305	1.6	8,741	26.8	11,473	15.5
(参考)17年3月期	365,785		2,509		5,369	

	第3四半期(当期)純利益		1株当たり 第3四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 第3四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円 銭		円 銭	
平成18年3月期第3四半期	9,898	11.8	47.49		-	
平成17年3月期第3四半期	11,228	14.0	52.75		-	
(参考)17年3月期	8,643		40.38		-	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

(2)財政状態の変動状況

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり 株主資本	
	百万円		百万円		%		円 銭	
平成18年3月期第3四半期	541,277		436,076		80.6		2,089.04	
平成17年3月期第3四半期	540,105		414,111		76.7		1,959.55	
(参考)17年3月期	535,512		406,229		75.9		1,948.99	

参考2. 平成18年3月期の個別業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	
通期	358,000		2,000		2,000	

(参考)1株当たり予想当期純利益 9円 60銭

(注)上記の予想につきましては、本資料の発表日現在のデータにより経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいております。実際の業績は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 4 . 平成 1 8 年 3 月 期 第 3 四 半 期 連 結 業 績 の 概 況

当第3四半期(平成17年4月1日から平成17年12月31日まで)におきまして、当社グループは業績の回復を図るべく、生産・販売・研究開発の各分野で業務改革の推進に努めましたが、売上高は5,493億17百万円(前年同期比2.5%増)、経常利益は152億49百万円(前年同期比40.8%減)、当第3四半期純利益は138億96百万円(前年同期比19.8%減)となりました。

各セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

### 〔包装容器関連事業〕

売上高は4,618億68百万円(前年同期比2.1%増)となり、営業利益は120億94百万円(前年同期比38.3%減)となりました。

#### 缶詰用空缶・その他金属製品の製造販売

飲料用空缶では、清涼飲料向けは、コーヒー向けが減少したことに加え、お茶類・炭酸飲料向けでリシールできる容器への移行が続き、主力のステイオンタブ蓋付缶は低調に推移しました。スチールタルクにリシール機能を付与した容器「TEC」につきましては販売が伸び悩んでおりますが、用途拡大を図りその高付加価値をさらにアピールし販売の強化に努めております。一方、アルコール飲料向けは、「第三のビール」と呼ばれるビール風アルコール飲料向けが大きく伸長したほか、日本ナショナル製罐株式会社が連結子会社として平成16年7月より当社グループに加わったことが寄与し増加しました。なお、タルクの技術を応用したアルミ缶「aTULC」は順調に販売を伸ばしております。飲料用空缶全体の売上高は、アルコール飲料向けが増加したものの清涼飲料向けが大幅に減少したことから前年同期を下回りました。

メタル容器では、水産食品向けやプラスチック容器への移行が続いている食用油・水羊羹向けが低迷したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

メタルキャップでは、清涼飲料向けで「TEC」用のアルミキャップが減少したことに加え、スチールキャップや王冠も低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。

#### プラスチック製品の製造販売

飲料用ペットボトルでは、500mlを超える大容量ボトルは、炭酸飲料向けで受注増による伸長がありましたが、ミネラルウォーター向けでプリフォーム販売への移行が進んだことなどから低迷し、500ml以下の小容量ボトルも、前期、新製品が好調だった350mlのお茶類向けが減少したことから前年同期を下回りました。一方、プリフォーム販売は、大容量向けを中心に大幅に伸長しました。以上の結果、飲料用ペットボトル全体の売上高は、前年同期を下回りました。

一般プラスチックボトルでは、食用油向けでバリア性を向上させた新容器「SiBOARD」の新規受注があったことや、洗濯用洗剤向けで新製品を受注したことから、売上高は前年同期を上回りました。

プラスチックフィルムでは、住宅用・洗濯用などの洗剤向けで、詰替機能を向上させた「フロスパウチ」を新規受注したことや、流動食・米飯などの調理食品向けが順調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。

プラスチックキャップでは、食品・化学品向けなどが減少しましたが、緑茶飲料向けが増加したほか、清涼飲料向けなどのパウチ用キャップが伸長し、売上高は前年同期並となりました。

#### ガラス製品の製造販売

ガラス製品では、食料・焼酎向けのびん製品およびハウスウエア製品がともに大きく減少し、売上高は前年同期を下回りました。

#### 紙製品の製造販売

紙製品では、ヨーグルト・冷菓向けが低迷した紙コップとビール向けジャケットパックの不振が影響した紙器がそれぞれ減少しましたが、平成17年10月に連結子会社であるトーカンパッケージングシステム株式会社（現日本トーカンパッケージ株式会社）が、日板パッケージ株式会社と合併したことに伴い段ボールが大幅に増加し、売上高は前年同期を大きく上回りました。

#### エアゾール製品・一般充填品の受託製造販売

エアゾール製品等の受託充填では、殺虫剤などのエアゾール製品と新規受注があった一般充填品がそれぞれ増加し、売上高は前年同期を上回りました。

#### 〔鋼板関連事業〕

シルバートップ（電気亜鉛メッキ鋼板）・ニッケルトップ（ニッケルメッキ鋼板）・ピニトップ（高級化粧鋼板）・薄板類などの製造販売につきましては、諸資材の価格上昇の中で一層のコストダウンと販路の拡大に努めました結果、売上高は559億85百万円（前年同期比1.6%増）となりましたが、国内外の市場における需要動向と価格対応の影響を受け、17億38百万円の営業損失（前年同期は営業利益29億52百万円）となりました。

#### 〔その他事業〕

硬質合金・電子機器部品・機械器具および塗薬・肥料・顔料・ゲルコートなどの製造販売、石油製品などの販売、損害保険代理業および不動産管理などにつきましては、売上高は314億62百万円（前年同期比10.1%増）となり、営業利益は22億1百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

## 5 . 連結財務諸表等

### ( 1 ) 第 3 四半期連結貸借対照表

( 単位 百万円 )

区 分	当第 3 四半期末 平成17年12月31日	前第 3 四半期末 平成16年12月31日	前連結会計年度 平成17年 3 月31日
( 資 産 の 部 )			
流 動 資 産	449,039	463,118	446,600
現金及び預金	99,040	128,264	138,116
受取手形及び売掛金	236,465	225,364	195,454
有 価 証 券	5,000	5,001	5,001
棚 卸 資 産	87,499	84,255	88,181
繰 延 税 金 資 産	9,659	9,457	9,715
そ の 他	14,344	13,661	13,335
貸 倒 引 当 金	2,971	2,886	3,205
固 定 資 産	505,073	461,977	473,007
有 形 固 定 資 産	305,172	302,685	306,846
建物及び構築物	97,038	108,233	108,582
機械装置及び運搬具	112,030	106,804	110,964
土 地	71,051	61,964	61,850
そ の 他	25,051	25,683	25,448
無 形 固 定 資 産	6,143	2,570	2,370
投 資 そ の 他 の 資 産	193,756	156,721	163,790
投 資 有 価 証 券	173,609	122,734	127,353
繰 延 税 金 資 産	12,247	25,602	27,874
そ の 他	10,203	10,287	10,567
貸 倒 引 当 金	2,303	1,902	2,004
資 産 合 計	954,112	925,096	919,608

区 分	当第3四半期末 平成17年12月31日	前第3四半期末 平成16年12月31日	前連結会計年度 平成17年3月31日
( 負債の部 )			
流動負債	167,317	155,276	163,862
支払手形及び買掛金	81,847	82,038	81,494
短期借入金	27,044	14,526	16,209
未払法人税等	3,834	5,444	5,152
その他	54,590	53,267	61,005
固定負債	108,560	131,281	127,408
社 債	3,000	8,000	8,000
長期借入金	10,784	10,885	9,515
繰延税金負債	6,302	3,147	3,175
退職給付引当金	79,523	98,654	97,261
特別修繕引当金	5,550	6,813	5,492
連結調整勘定	1,286	1,818	1,752
その他	2,111	1,962	2,208
負債合計	275,877	286,558	291,270
( 少数株主持分 )			
少数株主持分	55,943	43,408	42,935
( 資本の部 )			
資 本 金	11,094	11,094	11,094
資本剰余金	349	-	-
利益剰余金	559,412	552,284	547,682
その他有価証券評価差額金	64,984	40,374	40,670
為替換算調整勘定	165	22	64
自 己 株 式	13,383	8,601	13,982
資本合計	622,291	595,129	585,401
負債、少数株主持分 及び資本合計	954,112	925,096	919,608

## (2) 第3四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

区 分	当第3四半期 自平成17年4月1日 至平成17年12月31日	前第3四半期 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日	増 減	前連結会計年度 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日
売 上 高	549,317	535,919	13,397	699,865
売 上 原 価	473,218	446,790	26,428	595,684
売 上 総 利 益	76,098	89,128	13,030	104,180
販売費及び一般管理費	63,402	64,490	1,088	85,574
営 業 利 益	12,696	24,638	11,941	18,606
営 業 外 収 益	7,191	6,144	1,046	8,282
受 取 利 息	264	246	18	366
受 取 配 当 金	1,382	995	386	1,282
賃 貸 収 入	1,503	1,425	77	1,917
連結調整勘定償却額	505	529	24	732
そ の 他	3,536	2,946	589	3,983
営 業 外 費 用	4,637	5,025	387	8,154
支 払 利 息	368	403	35	499
賃貸資産管理費用	1,002	1,231	229	1,572
棚卸資産整理損	557	386	171	1,524
固定資産除却損	656	915	258	1,765
固定資産評価損	991	504	487	747
そ の 他	1,061	1,583	521	2,044
経 常 利 益	15,249	25,757	10,507	18,734
特 別 利 益	19,296	11,628	7,667	16,275
固定資産売却益	-	-	-	1,085
移 転 補 償 金	-	422	422	1,738
投資有価証券売却益	-	-	-	1,108
退職給付信託設定益	1,086	-	1,086	-
関係会社清算益	-	-	-	1,135
厚生年金基金代行返上益	15,710	11,206	4,503	11,206
退職給付制度変更差額	2,499	-	2,499	-
特 別 損 失	12,763	8,583	4,179	13,552
固定資産評価損	-	-	-	3,488
減 損 損 失	3,070	-	3,070	-
固定資産臨時償却費	9,692	1,795	7,896	2,641
関係会社貸倒引当金繰入額	-	-	-	631
災 害 損 失	-	99	99	112
災害損失引当金繰入額	-	16	16	6
退職給付制度変更差額	-	6,671	6,671	6,671
税金等調整前第3四半期純利益	21,782	28,802	7,019	* 21,457
法人税、住民税及び事業税	7,563	9,907	2,344	10,381
法 人 税 等 調 整 額	-	-	-	2,844
少 数 株 主 利 益	322	1,562	1,239	1,184
第 3 四 半 期 純 利 益	13,896	17,332	3,435	* 12,735

(注) 1. \* はそれぞれ税金等調整前当期純利益・当期純利益となります。

2. 当第3四半期、前第3四半期における税金費用については、簡便法により計算しているため、「法人税、住民税及び事業税」は、法人税等調整額を含めております。

(セグメント情報)

事業の種類別セグメント情報

当第3四半期(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)

(単位 百万円)

	包装容器 関連事業	鋼板関連 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	461,868	55,985	31,462	549,317	-	549,317
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	93	26,838	4,288	31,220	31,220	-
計	461,962	82,824	35,751	580,537	31,220	549,317
営 業 費 用	449,867	84,562	33,549	567,979	31,358	536,620
営業利益又は営業損失( )	12,094	1,738	2,201	12,557	138	12,696

前第3四半期(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)

(単位 百万円)

	包装容器 関連事業	鋼板関連 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	452,256	55,079	28,582	535,919	-	535,919
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	74	25,728	3,340	29,142	29,142	-
計	452,331	80,808	31,922	565,062	29,142	535,919
営 業 費 用	432,715	77,855	29,932	540,504	29,222	511,281
営 業 利 益	19,615	2,952	1,990	24,558	79	24,638

前連結会計年度(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)

(単位 百万円)

	包装容器 関連事業	鋼板関連 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	587,885	74,178	37,801	699,865	-	699,865
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	95	33,455	4,472	38,023	38,023	-
計	587,980	107,633	42,274	737,888	38,023	699,865
営 業 費 用	574,127	105,225	39,813	719,166	37,907	681,259
営 業 利 益	13,853	2,407	2,460	18,721	115	18,606

(注)1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2. 各事業の主な製品

(1) 包装容器関連事業 空缶製品、プラスチック製品、ガラス製品、紙製品等

(2) 鋼板関連事業 鋼板、鋼板加工製品等

(3) その他事業 塗薬、顔料、電子機器部品、機械器具、石油製品等

3. 当第3四半期、前第3四半期及び前連結会計年度における営業費用は全て、各セグメントに配賦している。